



これは韓国の伝統衣装です。旧暦のお正月に着ます。

ソル スジン
国際交流員 **成 修眞**
(観光交流課)



お正月料理。材料はシンプルですが、胡麻油の香ばしい一品。

スジンのアンニョンハセヨ~♪

ソル ナル
설날(お正月)



2008年、明けましておめでとうございます。今年が対馬の皆様にとって素敵な一年となりますようにお祈りいたします。

韓国の新年の挨拶は、「새해 복 많이 받으세요」 「新年 福をたくさん もらってください」です。韓国人は福という言葉をとても大事にしている民族で、日常生活でもよく使います。

数え年を使う韓国では、1月1日になるとみんな一斉に一つ歳をとります。でもお正月は旧暦で行うので、今年2月7日が旧暦の1月1日。大晦日を含め2月6日から5連休となります。

お正月には伝統衣装を身にまとい茶禮(차례)をします。茶禮とはお盆の時と同様、テーブルいっぱいに先祖への供え物を載せお辞儀をすることです。そして、祖父母など目上の人に新年の挨拶をします。両手を重ね、あぐらをかいて上半身をさげる韓国式のお辞儀をします。これを「歳拜(세배)」といいます。目上の方はそれに対するお返しとして、「徳談(덕담) 相手の幸せを祈る言葉」を聞かせます。そして、最後に「세뱃돈 お年玉」をあげます。

最近、ある新聞のアンケート調査で、聞きたくない徳談の上位に、「早く就職しなさい」と「早く結婚しなさい」が入っていました。私もそろそろ後者の方を言われると思うので、今年覚悟を決めて笑顔で右から左へ受け流す心の準備をしておこうと思っています。



それでは、皆さん「잘 부탁드립니다 今年もよろしくお祈りいたします」

ヨンド 影島区から 対馬のみなさまへ

昭和61年に姉妹島提携を結んで以来、対馬と交流のある釜山広域市影島区の区庁長より、対馬市民の皆様へ新年のあいさつが届きましたので紹介いたします。なお、今後定期的に影島区からの記事を、広報で紹介していきますのでご期待ください。



釜山広域市
ヨンド 影島区庁長 **魚 允泰**

新年祝辞

謹んで新年のお祝いを申し上げます。ねずみ年の新年を迎え、影島区16万の区民を代表いたしまして、対馬市民の皆様へ新年のご挨拶を申し上げます。

私は2006年7月に区庁長に就任し、区政に携わっております魚允泰と申します。影島と対馬は1986年に姉妹島提携を締結して以来、様々な事業を展開して参りました。民間交流だけでなく、行政交流も活性化することで友好関係を益々発展させてきました。

地理的に見ても、対馬と釜山はわずか49.5kmしか離れていない国境の都市で、晴れた日には区内の太宗台からも対馬を一望することができます。このようなことから貴市に対しましては、すぐ隣の町のような親近感を持っております。今後も、20年以上の歴史を持つ姉妹都市として、より幅広い交流が行われることを願っております。また、機会がございましたら、韓国の名勝地のひとつである太宗台と東三洞貝塚遺跡地など様々な歴史や文化が息づいている影島区にぜひお越しください。

最後に、対馬市民の皆様にとって、2008年が実り多き1年となりますことを心よりお祈り申し上げます。